

新電動噴霧器

共通取扱説明書

・12L型 ・20L型

1.はじめに

この度は「新電動噴霧器」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、安全なご使用方法を十分ご理解いただいた上で適切な方法でご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。また本書をお読みいただいた後はいつでもご確認くださいませよう大切に保管し、本機を貸与、譲渡される場合は本書を共にお渡してください。

かならずご確認ください

ご到着後はすぐに備品の不足や動作不良がないかご確認ください。

万が一備品の不足や動作不良がみつかりました場合はお早めにご連絡ください。到着から長期間経過後に見つかりました初期不良は、保管中に不具合が生じた可能性があるためご対応できない場合があります。

最低3カ月に一度、定期充電を行ってください。

蓄電池は保管中も放電されます。放電が許容範囲を超えた(過放電)状態で長期間経過すると、バッテリーの性能が著しく低下します。保管中も最低3カ月に一度(使用開始から時間が経ったバッテリーはより短い間隔で)定期充電を行ってください。



2.目次

1.はじめに		8.使用方法	11
2.目次	1	①薬剤の調整と充填	
3.商品の仕様	1	②電源のオン・オフ	
4.使用上のご注意	2	③噴霧	
5.セット内容	4	9.使用後のお手入れと保管方法	13
6.各部の名称	5	①使用後のお手入れ	
7.組み立て・使用前の準備	7	②保管方法	
①付属品の取り付け		③バッテリーの取出し・接続	
②噴霧管・ノズルのセット		10.故障かな?と思ったら	15
③バッテリーの充電		11.保証規定及び保証書	17

3.商品の仕様

型名	12L型	20L型
噴霧量	3.1 L /min	3.1 L /min
噴霧力	0.55MPa	0.55MPa
タンク容量	12L	20L
バッテリー	12V/8AH (充電時間約8時間)	12V/8AH (充電時間約8時間)
使用時間	約5時間 ※バッテリーの状態で上下します	約5時間 ※バッテリーの状態で上下します
充電	入力100V(50/60Hz)	入力100V(50/60Hz)
重量	5.2 kg	5.7 kg
サイズ (mm)	高さ:530 幅:325 厚み:210	高さ:570 幅:340 厚み:235

4.使用上のご注意

誤った使い方で本品を使用されますと重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書を熟読し、使用法をご理解いただいた上でご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、かならずご確認くださいませようお願い致します。

●安全にご使用いただくために

火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐため、本項に記載いたします安全のための注意事項を必ずお守りください。これらを順守されない場合人身事故につながる恐れがありますので、よくお読みいただき、内容を十分ご理解いただいた上で注意してご利用ください。

- ・ご使用前にこの「使用上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所にかならず保管してください。
- ・取扱説明書に記載されていない方法や目的でのご使用あるいは、用途以外の目的でのご使用は事故やけがの原因となりますので、絶対におやめください。
- ・本書にない保守・整備等は決して行わないでください。
- ・お客様の不注意による破損やけがに対する責任は負いかねますので、予めご了承ください。

●表示内容の意味



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が差し迫って想定されます



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定されます



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う及び物的損害のみが発生する可能性が想定されます

誤った使い方で本品を使用されますと重大な事故につながることがあります。下記を熟読し、ご理解いただいた上でご使用ください。

電動噴霧器の安全に関わる安全事項



警告

禁止事項

- ・農園芸用薬剤の散布を目的にしています。指定された用途以外には使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- ・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・作業場は十分明るくし、夜間、悪天候など視界が良くない時は使用しないでください。
- ・この取扱説明書に記載されている以外の付属品やアタッチメント等は使用しないでください。
- ・異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ず本体を停止してください。
- ・作業中は、他の人や動物を近づけないでください。
- ・充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。
- ・必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- ・バッテリー、充電器を分解しないでください。
- ・バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。
- ・使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ・周囲温度が10℃未満、あるいは周囲温度が40℃以上ではバッテリーを使用・充電・保管しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・濡れた手で電源プラグに触れないでください。
- ・強酸性、強アルカリ性の薬剤、シンナー、ガソリン、ベンジン等は絶対に使用しないでください。

ご使用に関する指示

- ・各部の操作に慣れ、すばやく停止する方法を習得してください。
- ・日常点検を行い、本機を常に良好な状態でご使用ください。
- ・グリップをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。
- ・使用前に接続部のパッキンの脱落がないこと、ネジの緩みや欠落した部品などがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと、各部に異常がないことを確認してください。
- ・薬剤の使用にあたっては、薬剤の説明書に従ってください。
- ・タンクに薬剤を入れる時は、必ず備え付けのタンクストレーナー(こし網)を通してください。
- ・充填時にこぼれた薬剤をその場できれいに拭取ってください。
- ・薬剤タンク蓋は、薬剤が漏れないように、しっかり締めてください。
- ・突然の噴霧を防ぐため、スイッチのON-OFFの切替は、レバーを停止状態にして行ってください。
- ・噴霧作業中は常に風向きを考え、風上から風下に噴霧して薬剤が体に直接付着しないように十分ご注意ください。
- ・必ずタンクに薬剤か清水を入れ運転してください。空運転はポンプを傷めることがあります。
- ・日中の気温が高い時の噴霧作業は避けてください。朝、午後での噴霧作業をお勧めします。
- ・使用後は薬剤タンク内の残液を抜き、清水を入れたポンプを数分間(2～3分)運転し、ポンプ、ホース、ノズル等の内部に残っている薬剤をきれいに流してください。
- ・屋内で直射日光を避け、風通しがよく凍結しない、子供の手の届かない所で保管してください。
- ・薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。自動車等で運搬される場合は、薬剤が漏れないよう、タンク蓋をしっかり締めて、傾かない状態に固定してください。
- ・薬剤の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋、長袖、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。

5.セット内容



警告

- ・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。
- ・開封時に本体、それぞれの部品を注意深く点検し、損傷などが無いことを確認してください。
- ・不足や損傷などの異常が見られる場合は使用せず、保証期間内に弊社にご連絡ください。

※開封時に箱の中身を全てとりだし、備品を全て点検してください。
 ※それぞれの部品はあらかじめ本体に取り付け済の場合があります。

A:本体タンク×1

B:フタ×1

C:こし網(本体内部)×1

D:ダイヤルつまみ×1

E:噴霧管ホルダー×1

F:噴霧管×1

G:グリップ×1

H:ストラップ×2

I:充電ケーブル×1

J:ふた用パッキン×1

K:噴口8種

L:噴霧管パッキン

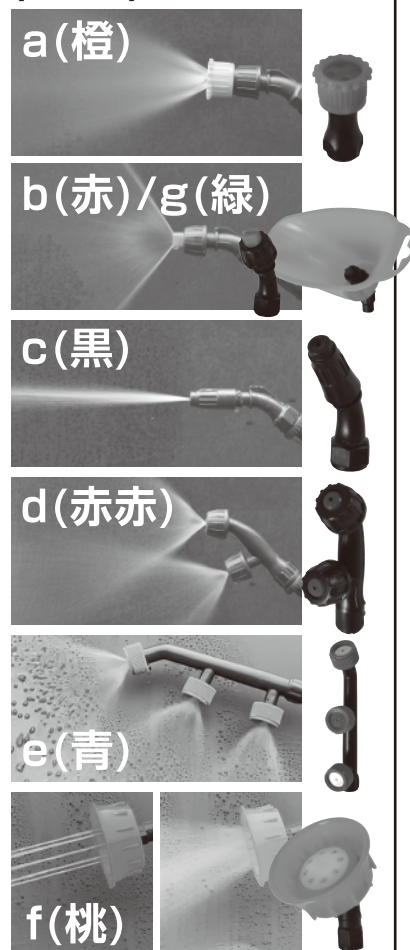


J:ふた用パッキン



K:噴口8種

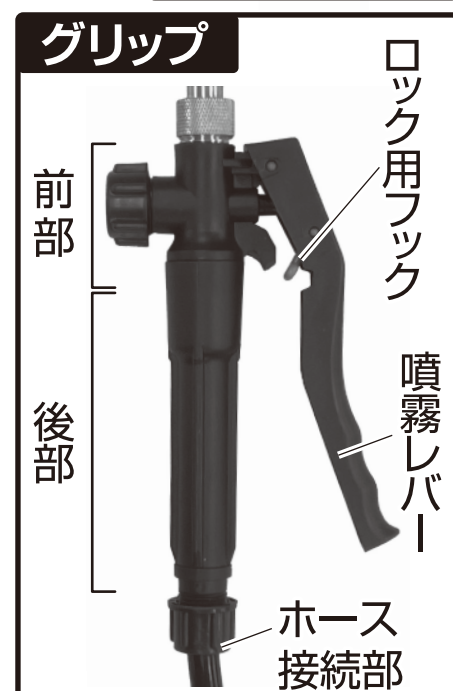
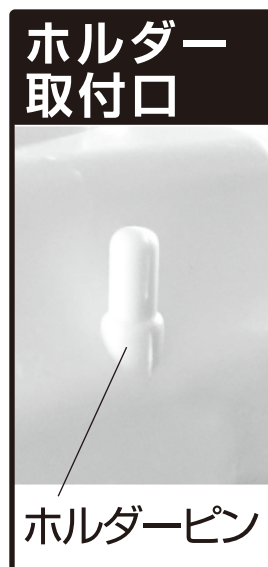
(a~h)×各1個



※c,fは先を回すと直線/霧状に切り替わります。

6.各部の名称

①前面・各部詳細



②背面.....

バッテリー
ランプ

ツメ

フック穴

バッテリーボックス

ドレンふた

ベルト固定
ループ

8カン

ビス

背面
パネル

ショルダーベルト

末端8カン

③側面.....

1.右側面(ホース口側)

ホルダーピン

ホース口

ドレン

2.左側面(電源パネル側)

電源

| ON
○ OFF



ダイヤル式
電源スイッチ

充電端子
(カバー付)

切り替え式
電源スイッチ

7.組み立て・使用前の準備

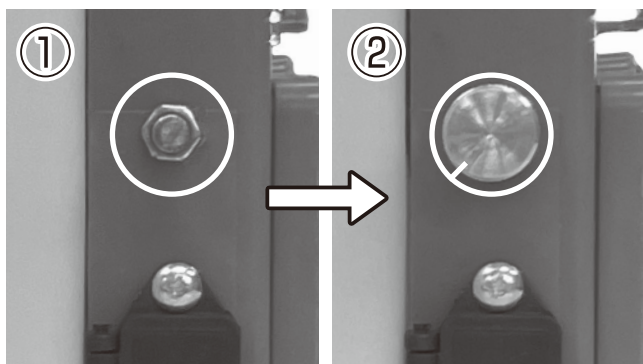


注意

・部品取り付けの際には、締めすぎにご注意ください。接続部品にはプラスチックが使用されているため、強く締め付けすぎると破損の原因となります。

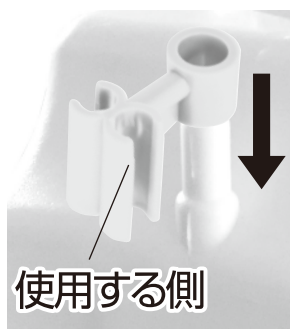
①付属品の取り付け

1.ダイヤルつまみの取り付け



ダイヤルスイッチに「ダイヤルつまみ」を差し込みます。

2.噴霧管ホルダーの取り付け



ホルダーピンに噴霧管ホルダーを差し込みます。

※差し込めない場合は木槌などでやさしくたたき、少しずつ押し込んでいきます。

細い側のホルダーは使いません。太いホルダーに基部管をはめ込んで使用します。

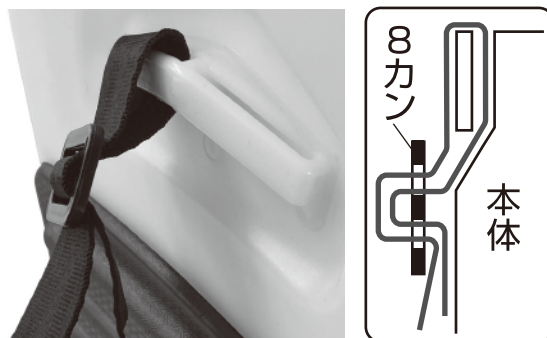
3.ショルダーベルトのセット



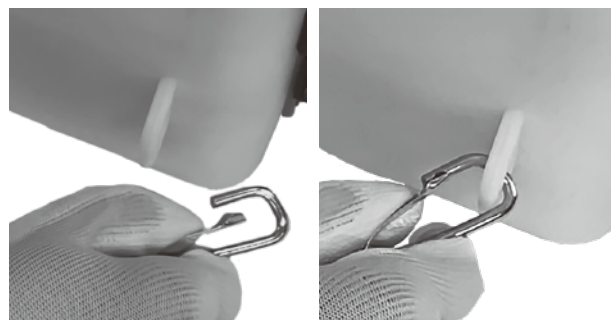
注意

タンクに薬剤を入れて背負う際、重みで8カンが外れる場合があります。使用前に背負ってみてお試しいただき、頻繁に外れる場合は丁度良い長さでベルトの端を縫い付ける安全ピンなどで留めるなどして固定してください。

1)取り付け



1.ショルダーベルトをベルト固定ループに通して、8カンで束ねます。



2.ベルトのフックをタンク下部にあるフック穴に通します。

2)長さの調整



2か所の8カンで、左右両方のベルトを使いやすい長さに調整します。

②噴霧管・ノズルのセット

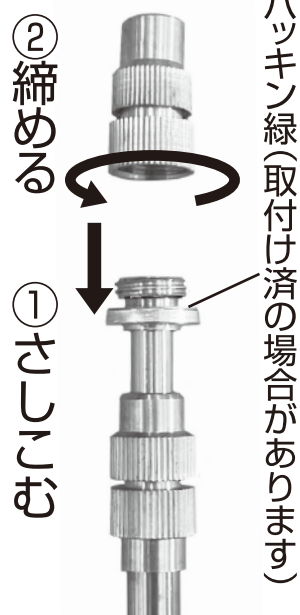
⚠ 注意

- ・それぞれの部品の接続部に、しっかりとパッキンを入れてください。
- ・接続部はしっかりと締め、使用前に接続部から液漏れが起きないか確認してください。

1. 噴霧管の組み立て

到着時は、先端に噴口hが取り付けられています。

※画像は噴口h



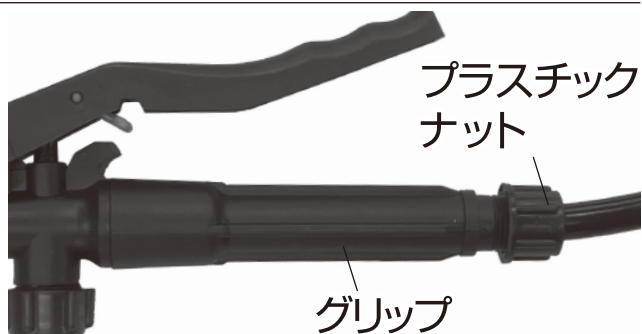
▲先端側(噴口側)

先端側には選んだ噴口を、根本側にはグリップを挿しこんで締めこみます。

※黒・緑のパッキンを二重に取り付けないようご注意ください。

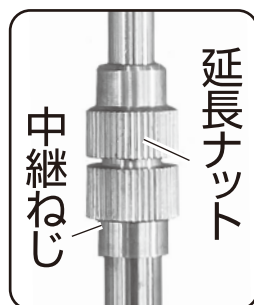
※万が一噴霧管の根元から水漏れが発生する場合は、P15をご参照ください。

2. ホース接続部の確認

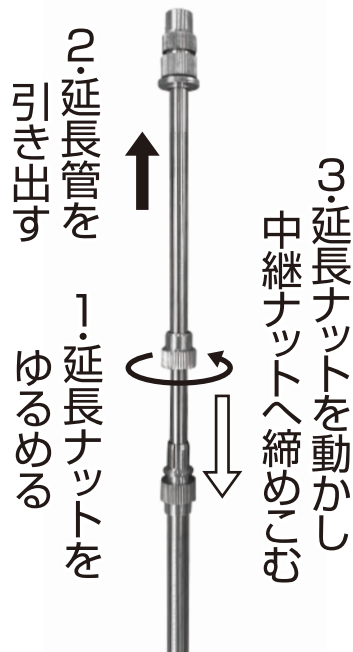


グリップとホースが確実に接続されているかを確認し、緩んでいる場合は締め込みます。

3. 噴霧管の長さ調整

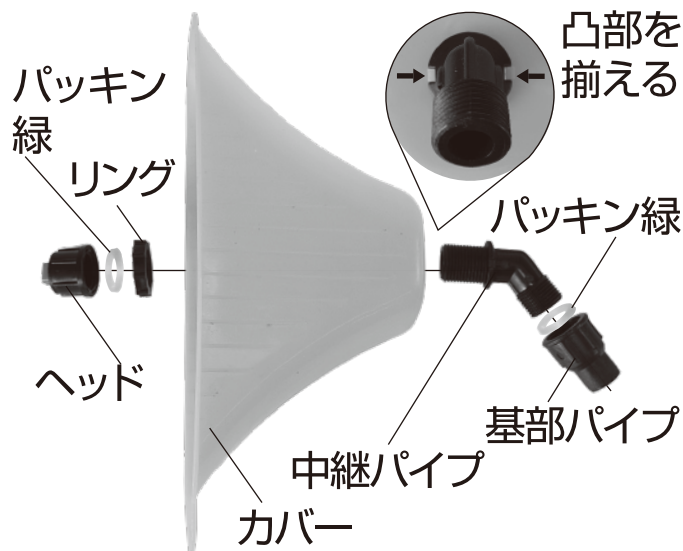


※接続部が回りにくい場合は、2本のペンチで延長ナットと中継ねじをはさみ、軽く回して外します。



1. 延長ナットをゆるめると、基部管の中から延長管を引き出せます。
2. 必要な分延長管を引き出します。※引き抜けた場合は、再度差し込みます。
3. 延長ナットの位置を中継ねじ付近までずらし、中継ねじに締めこんで固定します。

4. カバー付噴口(Kg)の組み立て



上記の順番で各パーツを取り付け、各部をしっかり締めこみます。

③ バッテリーの充電

⚠ 警告

- ・この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。
- ・エンジン発電機、変圧器で充電機を使用しないでください。
- ・必ず弊社指定の専用充電器を使ってバッテリーを充電してください。
- ・本体の充電口に直接家庭用AC100Vを繋がないでください。
- ・この充電器は屋内使用専用です。屋外で使用しないでください。
- ・使用前に、充電器のコードと出力コネクタに損傷や破損が無いか確認してください。もし損傷などが見られた場合は使用しないでください。
- ・バッテリー挿入口に異物が入らないよう注意してください。ショートの原因になります。
- ・不意の動作を防ぐため、充電前に電源がオフになっていることを確認してください。
- ・温度が0℃未満、温度が40℃以上では、バッテリーを充電しないでください。
- ・充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ・濡れた手でバッテリーや電源プラグを触らないでください。
- ・バッテリー充電器は絶対に分解しないでください。
- ・充電したまま使用しないでください。
- ・充電器は本商品専用です。その他の機器の充電には使用しないでください。

⚠ 注意

- ・ご購入後初めて使用される場合や、長期間使用しなかった場合は、ご使用前に必ずバッテリーの充電を行ってください。

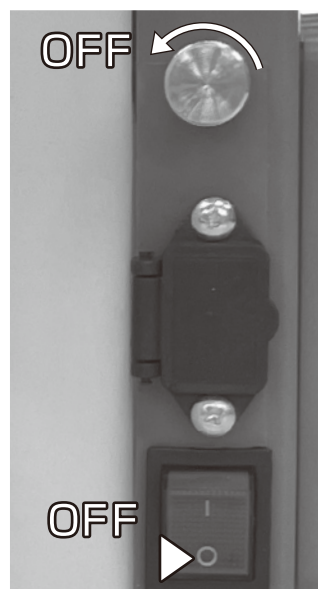
※初めてご使用される場合や長期間使用されなかった場合は、かならずご使用前に充電を行ってください(初回充電はすぐに完了する場合があります)。

※充電しながら本器を使用しないでください。

※充電が空の状態では長期間放置するとバッテリーが使用できなくなります。こまめな充電と、自然放電を考慮し定期充電を欠かさず行ってください。

1. 充電の準備

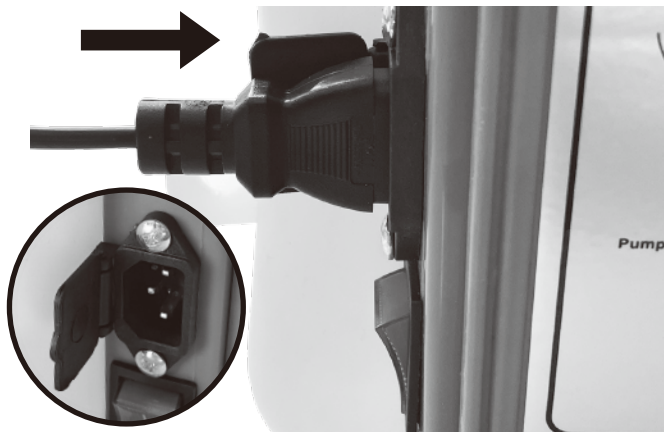
充電の開始前に、ダイヤル式スイッチと切り替え式スイッチが共にOFFであることを確かめます。



2. 充電の開始



1. 充電ケーブルの電源プラグを家庭用のコンセントへ挿しこみます。



2.本体側面の充電端子にケーブルを挿しこみます。

3.充電ケーブルの充電ランプが点灯していることを確認します。充電中は、ランプが赤色に点灯します。

ランプの点灯色はケーブルとバッテリーの状態により下記のように変化します。

充電ランプの点灯パターン

ケーブルを本体に接続していない…緑
ケーブルを本体に接続し充電中……赤
ケーブルを本体に接続し充電完了…緑

3.充電完了の確認

※ご確認

本体正面についているバッテリーランプは、充電中は点灯しません。電源を入れた際にのみ、バッテリーの状態をランプで示します(P12参照)。

充電状況は充電ランプの色によって確認できます。充電が完了すると、ランプの点灯色が赤色から緑色になります。

充電開始時のバッテリー残量によって完了までの時間は異なります。充電が完了した時点で、充電ランプは緑色になります。

本体が停止するまで放電した状態から満充電になるまで、およそ6～8時間かかります。

4.充電完了後

充電が完了したら、本体から速やかに充電ケーブルを外します。その後、充電端子のキャップをはめなおします、

5.充電時のトラブルについて

Q1.充電が開始しない

A1-1.

バッテリーは出荷時に満充電状態の場合があり、初回充電時は充電が開始しないか、すぐに充電が完了する場合があります。

A1-2.

電源コンセントが正常であることをご確認ください。充電ケーブルをコンセントに差し込んだ時点で充電ランプが緑に点灯しない場合、そのコンセントが故障していないかご確認ください。

A1-3.

本体正面にある「バッテリーメーター」は充電に関係しません。充電中バッテリーメーターは点灯しません。充電ケーブルについている充電ランプでご確認ください。

Q2.充電完了後に電源を入れても使用できない

A2-1.

本体の電源を入れてバッテリーメーターの点灯パターンを確認します。黄と緑の点灯以外のパターンの場合(ランプが点灯していない・黄のみ点灯している等)場合、充電ケーブルやバッテリーの問題により正常に充電できていない可能性があります。

A2-2.

電源が正常に入りバッテリーメーターも正常な場合、充電は完了していますが、別の原因で使用ができない可能性があります。本書P15の「噴霧の復旧操作」を行ってください。

8.使用方法

警告

- ・使用する薬剤は、必ず薬剤の取扱説明書に従って取り扱ってください。
- ・薬剤が混ざると化学変化を起こし、有毒ガスが発生する場合があります。必ず使用前に、タンク内に前回使用した薬剤が残っていないか確認してください。
- ・タンクへ薬剤を充填する際は、かならずタンクストレーナー(こし網)を通してください。
- ・不意に薬剤が散布されることによる事故を防ぐため、充填作業の前に必ず電源がオフである事を確認してください。
- ・以下のような薬剤は絶対に使用しないでください。
また、以下のような成分を含む薬液も使用しないでください。

- | | |
|------------------------|----------|
| ●ベンジン、ガソリンなどの可燃性の液体や溶剤 | ●畜産用薬剤 |
| ●園芸用以外の薬剤 | ●ケルセン水和剤 |
| ●酸性及びアルカリ性の液体 | ●油性薬剤 |

注意

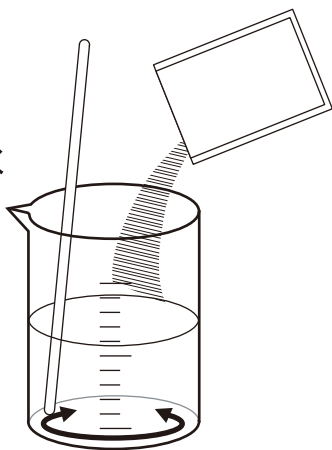
- ・既定の容量以上の薬剤を入れないでください。
- ・薬剤の取り扱いは十分に注意して行い、体に付着した場合はよく洗い流してください。

①.薬剤の調合と充填

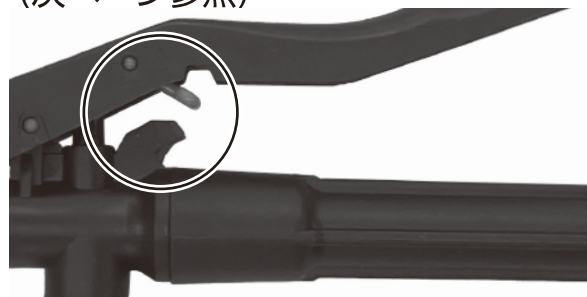
1.薬剤の調合

薬剤は別の容器で調合します。

薬剤は良く水に溶かしてください。特に水和剤はしっかりと混合してください。
十分に溶けていないと薬剤の効果や噴霧器の寿命、性能に悪影響を及ぼします。



- 2.グリップのレバーがロックされておらず、解除位置であることを確認します。
(次ページ参照)

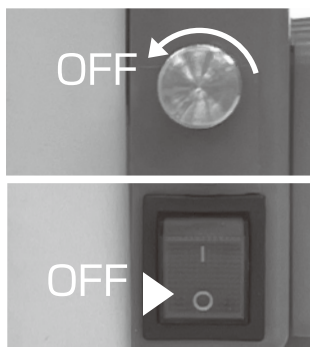


- 3.調合した薬剤を、必ずタンクストレーナー(こし網)を通して充填します。こぼれた薬剤はその場でふきとります。

こし網



- 4.充填後はタンクの蓋をしっかりと締めます。

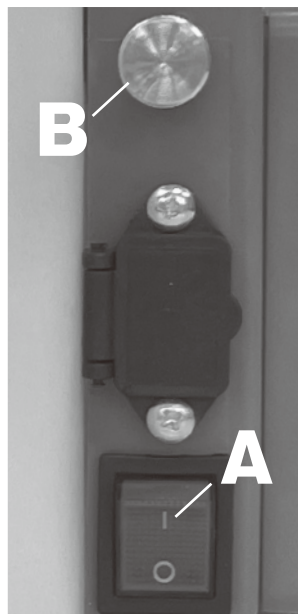


- 1.必ず充填前に、切り替え式とダイヤル式の両方の電源を切っておきます。
(次ページ参照)

②.電源のオン・オフ

1.電源スイッチは切り替え式とダイヤル式の2種類があります。

※電源をオフにする場合は、両方の電源スイッチを切る必要があります。



A切り替え式

オフ(O)にすると電源を切り、オン(I)にすると、常に最大の出力で連続噴霧ができます。

Bダイヤル式

止まるまで左に回すと電源オフになります。右に回すとまず電源がオンになり、回すほど出力が上がっていきます。

2.電源が入ると側面のバッテリーメーターが点灯するので、パターンを確認します。



黄点灯(低電圧):充電が必要です

黄・緑点灯:正常な状態です

黄・緑・赤点灯(過電圧):すぐ使用を中止し、バッテリーを交換してください。

電源を入れた時のモーター音について

電源をいれると、噴霧の準備のためポンプが液体を吸い上げる音がなり始めます。この音はしばらくすると停止します。

③噴霧

警告

・レバーがロックされていたり、押さわった状態で電源スイッチをオンにすると、いきなり薬剤が散布されます。不意の動作による事故を防ぐため、電源を入れる前にレバー及び周囲の環境を確認してください。

注意

・ご購入後初めて使用される場合や、長期間使用しなかった場合は、ご使用前に必ずバッテリーの充電を行ってください。

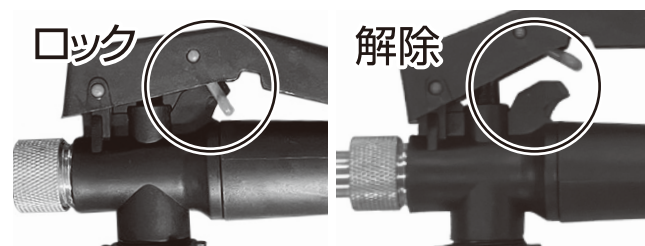
1.噴霧操作

先端のノズルを噴霧したい方向に向け、レバーを下図のように押すと噴霧が開始します。レバーを離すと噴霧が止まります。



2.連続噴霧

レバーを握りつつ根元のフックをかけるとロックされ、解除されるまで連続で噴霧し続けます。ロックを解除してレバーを離すと噴霧が止まります。



9.使用後のお手入れと保管方法

⚠ 警告

- ・不意の動作による事故、けがを防ぐため点検、整備の際は必ずスイッチをオフにしてください。
- ・点検、整備を行う前は、必ずタンク、ホース、ノズル内の薬剤を取り除いてください。
- ・残った薬剤は下水や河川、池、沼等には絶対に捨てないでください。

①使用後のお手入れ

⚠ 警告

内部の残液を捨てる際は、液が身体に触れたり目に入ったりしないよう十分に注意して捨ててください。

使用後は残った薬剤を抜き、下記の要領でタンクをきれいな水で洗浄します。

- 1.ドレンふたを開けて残液を抜き、全て抜けたらふたを元通り取り付けます。

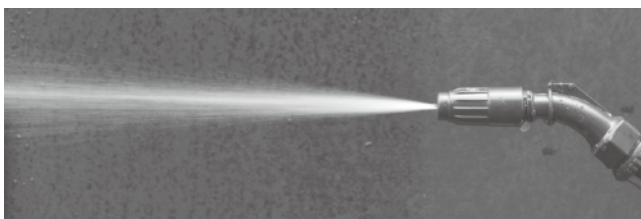
ふたを緩めて外す



こぼさないよう本体を抱えて液を捨て、ふたを戻す。



- 2.きれいな水をタンクに入れ2～3分程噴霧し、ホース、噴霧管内を洗浄します。



- 3.薬剤タンク内の水を抜き、ノズル内の残液が出なくなるまで再度運転します。
- 4.残液が出なくなったら電源をオフにして、各部についた水分や汚れをふき取ります。

- 5.ご使用後は、保管前に満充電になるまでバッテリーを充電する事をおすすめします。

②保管方法

⚠ 注意

- ・タンク内に薬剤が残った状態で保管しないでください。
- ・バッテリーの充電の際は、必ず接続コネクタを取り付けてから行ってください。

バッテリーの定期的な充電は必ず行ってください。行わなかった場合はバッテリーの劣化を招き、使用できなくなる可能性があります。

正しい保管方法

- 1.保管前に電源スイッチを切ります。
- 2.保管前に充電し、満充電状態にします。
- 3.接続コネクタを外し、極端な高温や直射日光を避け、湿気の少ない、お子様の手の届かない場所で保管します。

長期間保管する場合

- 1.「正しい保管方法」に加え、本章①「使用後のお手入れ」を参考に手入れします。
- 2.保管中も最低3か月に一度ほどの頻度でバッテリーを充電してください。バッテリーを使用開始して長期間が経過している場合は、より多い頻度で定期充電を行ってください。

③ バッテリーの取出し・接続

警告

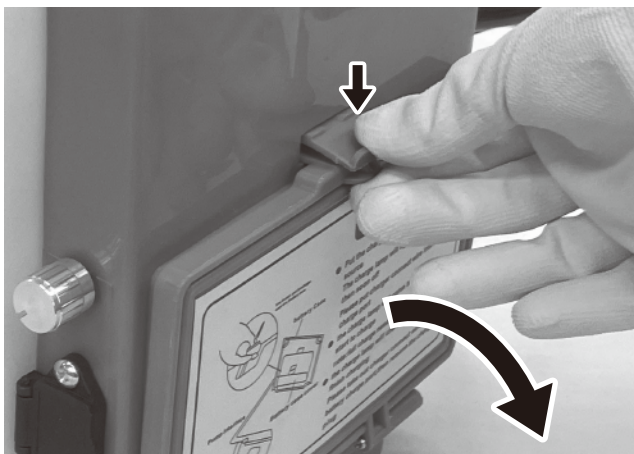
濡れた手でバッテリーの取出し、接続の操作を行わないでください。感電や事故の原因となります。

バッテリーを交換する際や、電源が入らず端子が外れていることが疑われる場合、右記の方法でバッテリーを取り出します。

- 1.作業開始前に、切り替え式とダイヤル式の両方の電源を切っておきます。



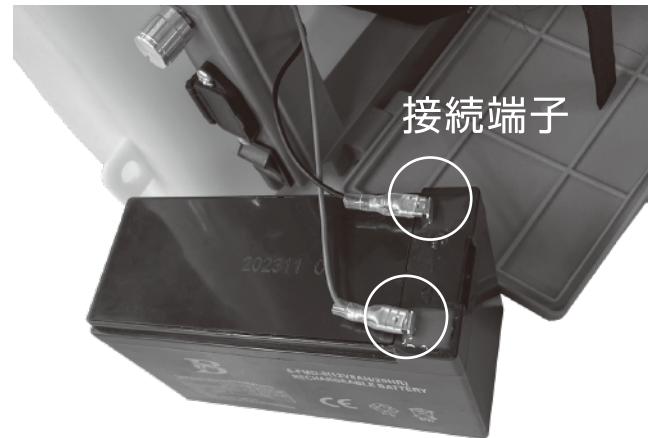
- 2.図A:バッテリーボックスのフタのツメに指をかけ、矢印の方向に力をかけながらフタを開きます。



- 3.バッテリーを固定するベルトを外してバッテリーを取り出します。



- 4.本体内部からバッテリーを取り出します。



- 5.ケーブルが端子から外れていた場合は、端子に挿し直します。

バッテリーを交換する場合は新しいバッテリーを用意します。ケーブルを現在のバッテリーの接続端子から抜き、新たなバッテリーに接続します。

※ケーブルを接続する際は、ケーブルと対応する端子(赤のケーブルは赤に、黒のケーブルは青か黒)に接続します。

- 6.バッテリーを元通りボックスに戻し、ベルトで固定してしっかりふたを閉めます。

10.故障かな?と思ったら

- ・本体の電源が正常に入る(バッテリーランプがN(緑)まで点灯する)
- ・ポンプの作動音の有無に関わらず、噴霧ができない

上記の問題が起きている場合、本体内部のポンプやホースに一時的な不調が起きている可能性があります。その場合は、始めに下記の噴霧の復旧操作をお試しください。

●噴霧の復旧操作

- 1.電源を一旦切ります。
- 2.入っている薬液を抜いて中を洗浄し、タンクの規定容量いっぱいに入れます。
- 3.切り替え式スイッチで電源を入れます。
- 4.噴口を水が噴出しても問題ない方向に向けます。
- 5.噴霧が開始するまで、噴霧レバーを右記2種類の操作で繰り返します。

5.レバーの操作



- ①最大までレバーを押す・離す操作を1秒おきを目安に素早く繰り返す。
- ②5秒間、最大までレバーを押しっぱなしにし、離す操作を繰り返す。

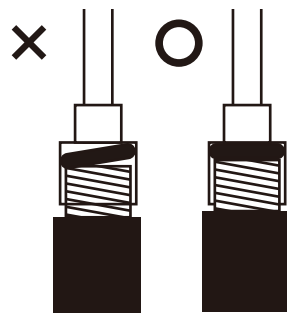
※上記の操作によりすぐに噴霧が復旧する場合と、時間がかかる場合があります。噴霧が再開しないときは、5～10分ほど連続して上記の操作を行ってください。

※上記の操作を繰り返しても噴霧が再開しない場合、噴口・噴霧管・グリップを分解・清掃して再度同じ操作を行ってください。

●噴霧管とグリップの間から水が漏れる場合

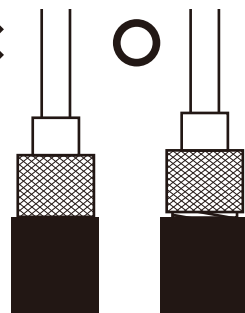
接続部から水が漏れる場合、下記の点をご確認ください。

- ①接続部内でパッキンが浮いていないか



締めこむ前にパッキンが平らにはめこまれていることを確認してください。

- ②接続部を締め込み過ぎていないか



接続部を強く締め込み過ぎると、接続部から水が漏れてくる場合があります。グリップと噴霧管が密着していなくとも、自然な力で止まる所まで締めてください。

●その他の問題と対応方法

症状	原因	対処
作動音がしない	①バッテリーの消耗	バッテリーの充電・交換
	②バッテリーの端子が抜けている	確実に接続する
	③ON/OFFスイッチ初期不良	交換
	④配線断線	
作動音はするが、 噴霧できない (出が悪い/弱い)	①バッテリーが消耗している	バッテリーの充電・交換
	②内・外のホースが折れている	まっすぐに直す
	③噴出口が詰まっている	噴出口を清掃する
	④タンク内の液量不足	液を追加する
	⑤弁の固着	弁の内部を清掃する
液剤が漏れる	①タンクの劣化や破損	タンクを交換する
	②タンク・ホースポンプの それぞれのつなぎ目から漏れる	ホースの交換、締め 付けを強くする
充電ケーブルのラ ンプが付かない	①ケーブルの不良	ケーブルの交換
	②コンセントの不良	別のコンセントを使用

※バッテリー・ポンプ等の消耗品が必要になりました場合、弊社へご連絡ください。



webページ上では最新の情報や動画を交えた解説を掲載しています。上記のコードよりアクセスできます。

https://www.kokkaen-ec.jp/user_data/s_faq_sinsprayer

1 1.保証規定および保証書

本規約は、弊社から直接本商品をご購入いただいた場合の保証内容です。

保証対応期間:商品発送日から6か月間以内

保証期間外の場合、商品の使用状況にかかわらず有償でのご対応となります。商品のご到着後は速やかに開封し、説明書の記載を元に品物の不足がないかどうか、正常に動作するかをご確認ください。また、ご返送いただく場合商品の再梱包が必要となりますので、梱包材は廃棄せずお手元に保管してください。

1.保証の期間内のご対応

- ・保証期間中に保証対象となる不具合が発生した場合、本規約に従い保証対応をさせていただきます。
- ・初期不良の検査のためのご返送品に不良が見られなかった場合、保証対応は無効となり、送料をお客様にご負担いただく形にて品物をお返しいたします。
- ・本規約は第一購入者にのみ有効です。
- ・ご購入年月日やご購入商品などの情報が弊社から特定できない場合、保証が受けられない場合があります。
- ・本規約は、日本国内で使用し故障した商品のみを対象とします。

2.保証適用外の事項

- 1.純正または弊社が使用を認めた部品以外の使用により生じた不具合。
- 2.保守整備の不備、保管上の不備や改造により生じた不具合
- 3.一般と異なる使用場所や使用法、示された限度を超えた酷使による不具合
- 4.取扱説明書に記載がない、または記載と異なる使用法により生じた不具合
- 5.地震、台風、水害等の天災により生じた不具合
- 6.注意を怠った結果に起きた不具合
- 7.薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- 8.使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(傷、さび、樹脂部品の劣化等)
- 9.機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- 10.弊社以外にて修理をされた商品
- 11.使用することで消耗、劣化する部品(ゴム・プラスチック製品、シャフト等)
- 12.保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- 13.商品を使えなかったことによる損失の補填(作業補償、商業損失の補償、盗難等)

3.その他の規定

- 1.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 2.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

お問合せいただく場合の手順につきまして

品物を弊社にご返送される際は、必ず事前に弊社にご相談ください。事前のお約束のない返送品が弊社に届きました場合は、お受け取り致しかねます。

①はじめに以下の情報をお電話、メール、FAXのいずれかにてご連絡ください。

- 1.電話番号
- 2.お名前
- 3.購入方法、年月日
- 4.商品名
- 5.ご質問の内容や不具合の状況等

②ご相談の内容から、担当者が本規約に基づいて弊社のご対応方法を決定し、内容をご説明致します。

- ・使用方法等のご質問:お電話、メール、FAX上にてご回答させていただきます。
品物の発送を伴う場合、往復送料をご負担いただきます。
- ・保証対応:初期不良の場合は送料・手数料・修理費用等は弊社負担となります。その他の場合、送料をご負担いただく場合があります。
- ・有償対応:ご対応にかります費用はすべてお客様のご負担となります。

③お客様のご了承をいただきましたのち、事前にお伝えしました方法にてご対応させていただきます。

輸入販売元

株式
会社

国華園

〒594-1192 大阪府和泉市善正町10
電話 0725-92-2737 (代) FAX 0725-92-1011
ホームページ <http://www.kokkaen.co.jp/>

MADE IN CHINA